

# 審議会等議事概要

## 第1回 滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議 役員会 議事概要

日 時	平成20年5月22日(木曜日)午後6時～午後6時55分
開催場所	滝川市役所7階 701会議室
出席者	土居委員長、後藤副委員長、清水副委員長、高野常任理事 事務局等：小田教育長、高橋教育部長、早瀬教育部指導参事、吉川学校教育課長、 杉原学校教育課副主幹、鳩山学校教育課主査、土橋学校教育課主査
議 事	<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶 ・土居委員長より挨拶をいただいた。</p> <p>3 説明・協議 (1) 小委員会における検討結果について 「滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書」 ・事務局 「滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書」に基づき説明を行った。</p> <p>各役員意見等 委員長 小委員会においては、市内3高等学校・中学校・PTA・商工会議所といった、様々な方々に広い立場から、検討いただき、現時点で子どもたちにとって、あるいは地域にとって、どのような形が望ましいかという観点からまとめさせていただいた。実際に北海道教育委員会から計画を出された場合どうするかということではなく、現時点では滝川市としては是非こういった形でお願いしたい、ということで、最終的に小委員会 で検討した結果を報告書としてまとめたものである。ご意見があれば頂戴したい。</p> <p>・3校体制が望ましいという結論は良いと思う。実際に現在札幌方面で総合学科を行っている高校と比較し、滝川市では何故総合学科がなじまないのかという具体的な中身があれば、もっと北海道教育委員会へ強く訴えることができるのではないかと。同時に高等技術専門学校がなくなってしまうのであれば、工業高校に社会人の受入れができないのかということはどうか。大学でも学生が減り、社会人枠を作っている現状もある。</p> <p>事務局 道央地区に北海道教育委員会が道内における総合学科の成功事例として紹介している学校がある。事務局でその学校を訪問させていただき、いろいろな説明や意見</p>

を伺った。その内容は小委員会でも説明させていただき、個別の名称は記載していないが、メリット・デメリットの中にその分析結果を含めさせていただいている。

社会人の受入れに関しては、専攻科というイメージのお話であるかと考えるが、貴重なご意見であり、今後制度的な問題等を含め、幅広い視点で可能性について調べさせていただきたい。

委員長

総合学科については、小委員会において様々な検討をさせていただき、滝川市の状況においては今の段階ではなじまないという結論に達した。社会人枠については、今後の課題として調査していただくことでお願いしたい。

- ・ 3校維持が望ましいのだが、先日行われた北海道教育委員会主催の地域別検討協議会における状況からも滝川市にとって厳しい状況が迫ってきているように感じる。計画が出される前にこういった声をあげていくことは大切であると考えますが、計画が公表された後どのような対応をしていくのかについて難しいものがあると考えます。美唄では工業高校と美唄高校の一本化が報道されているが、その場合空知全体の中の単科校として残るのは滝川工業高校だけとなる。工業高校全体の道内における位置付けが良く見えない。

検討結果報告書の結論部分に「滝川工業高等学校の多様な存続策を互いに協議」、「工業高校の位置付け」とあるが、工業高校のあり方、位置付けということでは、北海道工業高等学校長会でも単科校が望ましいとされており、現在でも明確になっていると思う。あとは空知の地域産業と滝川工業高校の学科との関連はしっかり抑えていかななくてはいけないと考える。例えば、地域産業のニーズがあればバランスとして、現在滝川工業高校には無い建築科を新たな学科として要請していくことも必要があるのではないかと考える。

全体の基本的方向としては、一番望ましい形であるが、今後さらに工業高校としての努力が必要となるということも感じる。工業高校に入学している生徒は滝川市内からが多いと思うので、今後他の地区の生徒の確保などの対応が必要ではないか。

委員長

小委員会の結論については基本にご賛同いただけるが、今後北海道教育委員会には、空知、あるいは全道における工業高校の位置付けということも含めて検討いただきたいというご意見をいただいた。また、地域ニーズに応じた学科の要望も必要ではないかというご提案である。

- ・ 滝川工業高校の現実問題として土木科が10名ぎりぎりの状態である。このまま定員割れが続けば、北海道教育委員会の方針では間口減の対象となる可能性が高い。工業高校設置の基本は4学科となっている。現在の滝川工業高校は3学科だが、もし今後土木科が削減されると、2学科となって

しまう。2学科になってしまうと学校存続ができなくなってしまうのが、現在の流れである。北海道教育委員会から計画が提示されてしまうと今までの流れでは覆すことは難しいので、3校維持ということは工業高校の3学科維持が前提であるということを確認していただき強く訴えていく方向でお願いしたい。

委員長

小委員会において私共もそういった危機感をもって検討した結果、「地域が一体となってその充実に努めるものとする。」という、報告書の「おわりに」の部分の言葉を報告書に入れまとめさせていただいたと認識している。

それでは、「滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書」内容については、了承をいただいたということでよろしいか。

各役員異議なし

(2) 「滝川市内高等学校再編に関するまとめ」の決定について

・事務局

「滝川市内高等学校再編に関するまとめ(案)」に基づき説明を行った。

各役員意見等

委員長

小委員会における「検討結果報告書」の「3 結論」の部分が、この「まとめ」となっている。小委員会の「検討結果報告書」では前段の専門的な分析が含まれていたが、この「まとめ」では、地域の特性などを強調し訴えていくような文章となっている。3校の歴史や背景、役割・特色を強調し、滝川工業高校の必要性などを基に、3校体制の必要性がまとめとなっている。表現方法・内容等についてご意見があれば発言をお願いしたい。

・3校体制が必要だと考えた場合、滝川工業高校の3学科を維持するために滝川西高校の間口を1減する考えはあるのか伺いたい。

教育長

滝川西高校は滝川市が設置者である。今後子どもの数が減り続けるのは明らかであり、仮に滝川工業高校の間口減があった場合であっても、それで滝川市内の間口減の必要がなくなる訳ではない。どこかの時点で滝川西高校の1間口減を検討・決断しなくてはいけないと考えている。また、滝川西高校は普通科と商業科のどちらを減していくべきかということの検討から始めなければならないため、6月や9月の北海道教育委員会の決論を待つということだけでなく、その判断はすぐにでも始めないと間に合わないという必要性・緊急性の高さは認識している。

市長とも協議をしているが、滝川市のことを考えて間口や学校数を考える訳にはいかない。過去の経過をみても、どこかが頑張ればどこかがなくなるということの繰り返しのようになっている。市町村間の対立ということを避ける意味でも広域的

	<p>な判断も必要だと考えている。</p> <p>委員長</p> <p>先を見通した考え方ということも必要であるが、当面今、今回は6月に向けてどういった考えをしていくかということのまとめであると考え。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では良いが先を考えてしまえば心配はある。4～8学級が適正規模であり、3間口が2間口に減ったら、再編ということも心配はある。市立高校は北海道教育委員会にとって手が付けにくいということもあり、基本的に3校維持したいという気持ちはあるが、先を見ると不安は確かにある。基本的な考え方は維持したいが、社会情勢を含めて考えると現実的に滝川市としての形を出さなくてはいけない時もある。平成23年はあつという間にきてしまう。</li> <li>・お話に出ているように、滝川市がターゲットとなっているが、滝川市だけでなく砂川市・赤平市・芦別市においても子どもが減るのは目に見えている。滝川西高校だけが良ければいいとはならない。近隣のことも考えていかねば難しい問題である。しかし、一方で滝川西高校は市立として努力してきて、また、教員も頑張ってきて今の良い状態となってきていることを見てきて知っているため、複雑な思いもある。</li> </ul> <p>滝川市を含め近隣を含めた中で考えていかななくてはならない問題であることは認識している。</p> <p>委員長</p> <p>そういった危機感を持ちながら3校体制は、滝川市だけでなく近隣を含め考えていかななくてはならない。6月に北海道教育委員会から示される内容によっては、我々だけは解決できない問題であり、市民的な活動も含めて具体的な行動を要することもあるかと考える。一応今の段階における考え方としては、提示させていただいた案を検討市民会議における「まとめ」として承認いただけたということによる。</p> <p>各役員承認</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長よりお礼の挨拶を申し上げた。</li> </ul> <p>5 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<p>会議次第</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝川市内高等学校再編に関する検討結果報告書</li> <li>・滝川市内高等学校再編に関するまとめ（案）</li> </ul>